

# 目 次

## 2026年度事業計画書

1. 技術部会事業の活動概要 -----	1
1.1 光センシング技術部会事業 -----	1
1.2 デジタル・イメージング技術部会事業 -----	1
1.3 光部品生産技術部会事業 -----	2
1.4 光学系設計技術部会事業 -----	3
1.5 フォトンテクノロジー技術部会事業 -----	3
2. 人材育成事業 -----	4
2.1 技術研修会事業 -----	4
2.2 技術講座事業 -----	4
2.3 人材育成事業用教本等の作成事業 -----	6
3. オプトメカトロニクス技術委員会 -----	7
4. 大学との連携事業 -----	7
5. 広報・図書・資料出版 -----	7
5.1 月刊誌 -----	7
5.2 図書出版 -----	7
6. 情報の提供 -----	8
7. 協会事業の活性化への取り組み -----	8
7.1 人材育成事業等の充実 -----	8
7.2 協会PR活動の充実 -----	8
7.3 技術部会の活性化 -----	8
8. その他の事業 -----	9
協賛 -----	9

# 2026年度事業計画書

(継続実施事業)

## 1. 技術部会事業の活動概要

光センシング技術部会、デジタル・イメージング技術部会、光部品生産技術部会、光学系設計技術部会及びフotonテクノロジー技術部会において、次の講演会等を実施することにより会員企業、学術研究機関等に広く提供し産業界の高度化に貢献する。

なお、講演会は原則ハイブリッド開催とするが対面希望者が少ない場合は部会長と協議の上、オンラインへ変更することもある。なお、夏場を開催する講演会は講師及び部会関係者の健康を考慮してオンラインとする。研修については見学先を二か所に絞り合同で実施する。

### 1.1 光センシング技術部会事業

部会長 高橋 哲 (東京大学 工学系研究科 精密工学専攻 教授)

副部会長 増田浩二 (リコー 技術本部 先端技術研究センター 次世代技術研究室 研究三グループ)

(1) 部会員らの共通する技術領域を探り、光波を用いたセンシング制御技術に関する講演会を実施して開発実務者の技術交流の場とする。

(2) 講演会3回、研修・講演会1回を計画。

第1回 (5月27日(水) 開催予定)

- ① 講演 演：非接触CNC画像測定機と最新技術の動向  
講師：森内栄介 (ミットヨ)
- ② 講演 演：レーザー逆散乱法による3次元ナノ加工表面トポグラフィの機上計測に関する研究  
講師：高谷裕浩 (大阪大学)

第2回 (7月28(火) 開催予定)

- ① 講演 演：OCTと機械学習を活用した網脈絡膜疾患の自動分類 (仮題)  
講師：綾塚祐二 (クレスコ)
- ② 講演 演：ライトシート顕微鏡の技術進展と生体イメージング応用への展開  
講師：齋藤 卓 (愛媛大学)

第3回 (10月6日(火) 開催予定) 【合同見学講演会】

- 見学先：資生堂 みらい開発研究所
- 講演 演：皮膚計測技術の開発動向 (仮題)
- 講師：江川麻里子 (資生堂/東京大学)

第4回 (2月 開催予定)

- ① 講演 演：検討中  
講師：未定
- ② 講演 演：検討中  
講師：未定

### 1.2 デジタル・イメージング技術部会事業

部会長 津村徳道 (千葉大学 大学院情報学研究院 准教授)

副部会長 国場英康 (ニコン 光学本部 要素開発部)

(1) 部会員らの共通する技術領域を探り、入力機器及び出力機器に関する技術動向の講演会を実施して開発実務者の技術交流の場とする。

(2) 講演会3回、研修・講演会1回を計画。

第1回(5月11日(月) 開催予定)

- ① 講演 演：動的映像制御によるプロジェクションマッピングの新展開  
講 師：奥 寛雅 (群馬大学)
- ② 講演 演：カメラにおけるフェイク画像対策  
講 師：森井稔子/高井陽介 (キヤノン)

第2回(7月17日(金) 開催予定)

- ① 講演 演：QV-10 (カシオ) 以前のデジタルカメラ、電子カメラの動向について (仮題)  
講 師：豊田堅二 (日本写真学会 フェロー)
- ② 講演 演：写真における「感性」とは何か (仮題)  
講 師：三井昌志 (写真家)

第3回(10月6日(火) 開催予定)【合同見学講演会】

- 見学先：資生堂 みらい開発研究所
- 講演 演：皮膚計測技術の開発動向 (仮題)
- 講 師：江川麻里子 (資生堂/東京大学)

第4回(2月 開催予定)

- ① 講演 演：検討中  
講 師：未定
- ② 講演 演：検討中  
講 師：未定

### 1.3 光部品生産技術部会事業

部会長 土肥俊郎 (九州大学・埼玉大学 名誉教授)

副部長 西岡宏高 (ニコン 生産本部 技術統括部 第一技術開発部 第一開発課)

(1) 部会員らの共通する技術領域を探り、光部品の精密加工に関する基礎的テーマ、トピカルな話題等を取り上げ、開発実務者の技術交流の場とする。

(2) 講演会3回、研修・講演会1回を計画。

第1回(4月15日(水) 開催予定)

- ① 講演 演：マルチマテリアル化に対応する成形・接合技術について  
講 師：西野創一郎 (茨城大学)
- ② 講演 演：CMP装置技術の現状と次世代CMP装置技術について  
講 師：塩川陽一 (荏原製作所)

第2回(8月4日(火) 開催予定)

- ① 講演 演：加工面撮影機能を付加したロボット研磨機による研磨粗さのオンマシン推定 (仮題)  
講 師：古木辰也 (中部大学)
- ② 講演 演：成形品の光学異方性、複屈折制御について (仮題)  
講 師：伊藤浩志 (山形大学)

第3回(11月13日(金) 開催予定)【合同見学講演会】

- 見学先：芝浦機械 沼津工場
- 講演 演：金型を用いたガラスの成形技術及び装置について (仮題)

講 師：人選中（芝浦機械）

第4回（1月 開催予定）

- ① 講 演：検討中  
講 師：未定
- ② 講 演：検討中  
講 師：未定

#### 1.4 光学系設計技術部会事業

部 会 長 牛山善太（タイコ 代表取締役社長）

副部会長 松岡祥平（HOYA ビジョンケア部門 技術研究開発部 設計室）

(1) 部会員らの共通する技術領域を探り、光学系の設計及び周辺技術についての基礎的テーマ、トピカルな話題等を取り上げ、光学設計・開発実務者の技術交流の場とする。

(2) 講演会3回、研修・講演会1回を計画。

第1回（5月28日(木) 開催予定）

- ① 講 演：近赤外ハイパースペクトルイメージング内視鏡の開発と医療応用の展開  
講 師：高松利寛（産業技術総合研究所／国立がん研究センター／東京理科大学）
- ② 講 演：安全性とデザイン性を支えるヘッドライト技術の変遷と未来への課題  
講 師：西村将太（スタンレー電気）

第2回（8月7日(金) 開催予定）

- ① 講 演：実写VR映像とEOS VR SYSTEMの展開（仮題）  
講 師：杉山 慶（キヤノン）
- ② 講 演：i線ステッパー工程のみで作製可能なカラーレジストからなる平面レンズ  
（仮題）  
講 師：小西邦昭（東京大学）

第3回（10月6日(火) 開催予定）【合同見学講演会】

- 見 学 先：資生堂 みらい開発研究所  
講 演：皮膚計測技術の開発動向（仮題）  
講 師：江川麻里子（資生堂／東京大学）

第4回（2月 開催予定）

- ① 講 演：検討中  
講 師：未定
- ② 講 演：検討中  
講 師：未定

#### 1.5 フォトンテクノロジー技術部会事業

部 会 長 植田憲一（電気通信大学 名誉教授）

副部会長 須田篤史（日本航空電子工業 商品開発センター 基盤技術グループ

技術シニアエキスパート）

(1) 部会員らの共通する技術領域を探り、フォトンを利用した先端技術及びその周辺・要素技術、トピカルな話題等を取り上げる他、部会員が抱えている技術的問題点を取り上げ討議し、開発実務者の技術交流の場とする。

(2) 講演会3回、研修・講演会1回を計画。

第1回（5月22日(金) 開催予定）

- ① 講 演：常温接合を用いた新規レーザ光源開発

- 講 師：庄司一郎（中央大学）  
 ② 講 演：レーザ微細加工における機械学習活用の試みと機能性表面の創成  
 講 師：小玉脩平（東京都市大学）

第2回（8月24日(月) 開催予定)

- ① 講 演：世界最高出力のアト秒レーザー（仮題）  
 講 師：高橋栄治（理化学研究所）  
 ② 講 演：透明材料内部への三次元加工（仮題）  
 講 師：花田修賢氏（弘前大学）

第3回（11月13日(金) 開催予定)【合同見学講演会】

- 見 学 先：芝浦機械 沼津工場  
 講 演：金型を用いたガラスの成形技術及び装置について（仮題）  
 講 師：人選中（芝浦機械）

第4回（1月 開催予定)

- ① 講 演：ブルリアン散乱を利用した分布型光ファイバセンサによる過酷な高温環境下における温度測定技術（仮題）  
 講 師：熊谷芳宏（横河電機）  
 ② 講 演：検討中  
 講 師：未定

## 2. 人材育成事業

以下の研修会、技術講座事業及び共催セミナーを実施しオプトメカトロニクス業界はもとより各種研究機関等の技術者の質的向上に資するとともに産業界の高度化等に貢献する。

なお、本年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況を見据えて、また講師の意見を伺いながら対面、ハイブリッド、オンラインのいずれかで開催するが、「光応用技術研修会」の「講義の部」は会場費を抑えるためオンラインとする。なお、実技もしくは演習を行う講座は原則対面とする。

### 2.1 技術研修会事業

次の研修会を実施する。

「2026 光応用技術研修会」

（講 義：6月2日(火)～4日(木)，8日(月)～11日(木)

計7日実施予定)

（テスト：7月9日(木)～10日(金)

計2日実施予定)

### 2.2 技術講座事業

次の技術講座を実施する。

- (1)「第1回 光学系の製造誤差解析入門」 【募集開始早々に定員に達したため2回開催】  
 (4月8日(水) 半日実施予定)
- (2)「波動光学の基礎」 【隔年開催としており実施】  
 (4月15日(水)～16日(木) 計2日実施予定)
- (3)「コンピューショナルイメージング」  
 (5月12日(火) 1日実施予定)
- (4)「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」  
 (5月15日(金) 1日実施予定)
- (5)「「図解・光散乱とその計測への応用」入門」

- (6月30日(火) 1日実施予定)
- (6) 「レンズ設計法」  
(7月15日(水)～16日(木) 計2日実施予定)
- (7) 「照明光学系の基礎と設計法」  
(7月30日(木) 1日実施予定)
- (8) 「第1回 光学実験入門」 【実習・実験付き】  
(8月20日(木)～21日(金) 計2日実施予定)
- (9) 「AIとオプティクス」  
(9月1日(火) 1日実施予定)
- (10) 「画像情報処理と機械学習」  
(9月10日(木)～11日(金) 計2日実施予定)
- (11) 「ズームレンズ設計法」  
(9月15日(火)～16日(水) 計2日実施予定)
- (12) 「第2回 光学系の製造誤差解析入門」 【第1回と同一内容で実施】  
(9月29日(火) 半日実施予定)
- (13) 「図解による光学入門」  
(10月8日(木)～9日(金) 計2日実施予定)
- (14) 「収差論」(偏心光学系の3次の収差論を含む)  
(10月14日～12月23日 隔週水曜日 計6日実施予定)
- (15) 「光学素子加工技術入門」ーレンズ・プリズム加工のメカニズムと要素技術ー  
(10月20日(火)～22日(木) 計3日実施予定)
- (16) 「偏光計測とイメージング」  
(11月4日(水) 1日実施予定)
- (17) 「光計測×Deep Learning×XAIー教師データ設計からモデル解釈までの実践入門ー」【PC実習付き】  
「光計測のためのDeep Learning入門から名称を変更」【隔年開催としており実施】  
(11月5日(木) 半日実施予定)
- (18) 「光学薄膜技術」 【PC実習付き】  
(11月18日(水)～19日(木) 計2日実施予定)
- (19) 「光散乱の現象と解析」  
(12月開催予定 計1.5日実施予定)
- (20) 「色彩工学」  
(12月開催予定 1日実施予定)
- (21) 「図面公差と計測誤差解析入門」 【実習付き】  
(12月開催予定 2日実施予定)
- (22) 「偏心光学系の3次の収差論」  
(12月23日(水) 1日実施予定)

- |   |          |
|---|----------|
| (23) 「光学系基礎理論」<br>(1月13日～2月3日 毎週水曜日)                        | 計4日実施予定) |
| (24) 「現代干渉計測入門」<br>(1月開催予定)                                 | 1日実施予定)  |
| (25) 「ナノ領域の光学 基礎編」<br>(1月開催予定)                              | 1日実施予定)  |
| (26) 「ナノ領域の光学 応用編」<br>(1月開催予定)                              | 1日実施予定)  |
| (27) 「第2回 光学実験入門」 <u>【実習・実験付き】【第1回と同一内容で実施】</u><br>(2月開催予定) | 計2日実施予定) |
| (28) 「図解による顕微鏡入門」 <u>【好評につき本年度も実施】</u><br>(2月開催予定)          | 1日実施予定)  |

### 2.3 人材育成事業用教本等の作成事業

大学等で修得が出来ない光学的の知識の向上を図るために、当協会が長年発行している光学分野の著書の再発行及び研修事業に使用する各種テキストの作成を行う。

- (1) 「2026 光応用技術研修会」
- (2) 「第1回 光学系の製造誤差解析入門」
- (3) 「波動光学の基礎」
- (4) 「コンピュータシミュレーションイメージング」
- (5) 「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」
- (6) 「図解・光散乱とその計測への応用」入門」
- (7) 「レンズ設計法」
- (8) 「照明光学系の基礎と設計法」
- (9) 「第1回 光学実験入門」
- (10) 「AIとオプティクス」
- (11) 「画像情報処理と機械学習」
- (12) 「ズームレンズ設計法」
- (13) 「第2回 光学系の製造誤差解析入門」
- (14) 「図解による光学入門」
- (15) 「光学素子加工技術入門」
- (17) 「偏光計測とイメージング」
- (16) 「光計測×Deep Learning×XAI」
- (18) 「光学薄膜技術」
- (19) 「光散乱の現象と解析」
- (20) 「色彩工学」
- (21) 「図面公差と計測誤差解析入門」
- (22) 「現代干渉計測入門」
- (23) 「ナノ領域の光学 基礎編」
- (24) 「ナノ領域の光学 応用編」
- (25) 「第2回 光学実験入門」
- (26) 「図解による顕微鏡入門」
- (27) 「2026 光応用技術研修会」 報告書&模範解答集
- (28) その他

### 3. オプトメカトロニクス技術委員会

国内外のオプトメカトロニクス技術に関して調査を行い、適宜会員企業へ情報を提供する他、会員企業の研究開発実務者向けの技術交流の場を設ける。

なお、昨年度延期したオプトメカトロニクス技術委員会シンポジウム2026を実施する。

### 4. 大学との連携事業

昨年度と同様、オプトメカトロニクス技術の振興を図るとともに、体系的光学教育の場を提供いたしたく、引き続き下記の大学と連携事業を行う。

#### (1) 「大阪大学 ナノサイエンスデザイン教育研究センター 社会人教育」との連携

上記の社会人教育センター 社会人教育に関するセミナーの案内を当協会会員へ周知し、この案内を見てセミナーへ申し込まれた方は無料で参加可能とする。また、ナノサイエンスデザイン教育研究センターに参加しているメンバーへは当協会が主催する人材育成事業の案内を行い申込みがあれば参加費を協賛価格とする他、技術部会講演会は研修の講演会を除き一社1名に限り無料で参加可能とする。なお、お互いのセミナー及び講演会において技術交流を図ることとする。

#### (2) 「光産業創成大学院大学 ものづくり講座」との連携

光産業創成大学院大学が主催する光関連の催し物を当協会会員へ周知する。また、ものづくり講座に参加している企業へは当協会が主催する人材育成事業の案内を行い、お互いの講演会及び講座において技術交流を図ることとする。

### 5. 広報・図書・資料出版

次の図書及び資料を編纂し、発行する。

#### 5.1 月刊誌

協会の活動状況及び最近のオプトメカトロニクス技術の情報を迅速に会員企業、シンクタンク、大学、官公庁等に広く提供することにより関連産業の高度化等へ貢献する。

#### 5.2 図書出版

オプトメカトロニクス技術分野の書籍として、主に光学設計関係の書籍を出版している。新規に出版する計画はないが、以下の書籍の販売を行い学術的な貢献を図る。

なお、昨年同様、オプトロニクス社が運営する「光のオンライン書店」で書籍販売する。

- (1) 「結像光学入門」(松居吉哉著)
- (2) 「収差論」(松居吉哉著)
- (3) 「偏心光学系の3次の収差論」(松居吉哉著)
- (4) 「光機器の光学Ⅰ」(早水良定著)
- (5) 「光機器の光学Ⅱ」(早水良定著)
- (6) 「幾何光学Ⅱ」(山田幸五郎著)
- (7) その他

## 6. 情報の提供

- (1) 官公庁や関連団体等からの「お知らせ」及び「イベント情報」を、メール配信及び光技術コンタクト誌に掲載して会員等に周知する。
- (2) 官公庁や関連団体等からの「イベント関連の案内ビラ」を協会会議室に設置する。

## 7. 協会事業の活性化への取り組み

協会事業の活性化への取り組みを引き続き実施し、事業の充実を図るとともに会員サービスの向上に繋げる。

### 7.1 人材育成事業等の充実

人材育成委員会では技術研修会及び技術講座の新設、改善について、また公開セミナーは今後の技術の進化と革新に期待が寄せられる分野を模索して検討を行う他、必要に応じて企画運営委員会、各技術部会で検討を行う。

2026年度は、以下の講座を復活するとともに開催月の見直しを図る。

- ・「波動光学の基礎」講座【復活】
- ・「光計測のためのDeep Learning入門」講座【復活】
- ・「第2回 光学系の製造誤差解析入門」講座【好評につき第1回と同一内容で実施】
- ・「ナノ領域の光学 基礎編」講座、「ナノ領域の光学 応用編」講座はカリキュラムの見直し予定である。
- ・「コンピューショナルイメージング」講座、「AIとオプティクス」講座は、学会及びイベント会社が主催する同様の催しと重複しないように開催月を変更して実施する。

### 7.2 協会PR活動の充実

- (1) 広範囲にわたるオプトメカトロニクス技術の関係先に対して当協会の活動の理解と普及を図るため、各種事業の今後の広報のあり方について専門的な知見を取り入れ検討を行い、当協会の事業案内および人材育成事業の積極的展開を図る。
- (2) 会員情報のデータベース化により、情報発信の効率化と簡素化をめざす。これにより、会員との連携・協調を一層強化し協会の活性化を図る。
- (3) 光産業技術振興協会、日本光学会、オプトロニクス社等より本技術講座の案内を其々の会員宛にメール配信していただくようお願いする。
- (4) オプトロニクス社が運営する「光のオンライン書店」に、当協会が発行する「結像光学入門」、「収差論」、「光機器の光学Ⅰ」、「光機器の光学Ⅱ」書籍を扱ってもらい販売する。
- (5) 「レンズ設計・製造展 2026 (OPIE'26)」(パシフィコ横浜)に出展をして、協会活動のPRを行うとともに、来場者に協会パンフレット、入会申込書、光技術コンタクト誌、各種技術講座のパンフレットを配布する。

### 7.3 技術部会の活性化

技術部会のこれまでの活動状況をふまえ、活性化のための方策を検討するとともに、必要に応じて新分野への部会活動の可能性を探るものとする。

## 8. その他の事業

### 協 賛

オプトメカトロニクス産業の振興に資するため、本協会と同じ目的を持つ他の団体等の事業に協賛をする。

以上、当協会の諸事業を積極的に進め業界の人材育成等の一層の発展を図るため会員相互の信頼に基づく協調体制の確立を重点思考し、当協会の持続性の検討も踏まえ、もって我が国のオプトメカトロニクス産業の発展に寄与して行く。